



株式会社ユニテッドアローズ 2022年3月期 通期決算説明会 質疑応答集

この質疑応答集は報道機関向け、アナリスト・機関投資家向け決算説明会にて、ご出席の皆様からいただいた主なご質問をまとめたものです。理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

Q. (株)UA の売上計画では、コロナ前(2020年3月期)に対して上半期の回復が鈍く、下半期で強くなっているが、この背景を知りたい。

A. 2020年3月期は、上半期は堅調だったものの、下半期は消費増税後の反動、新型コロナウイルスの発生などにより苦戦しています。その影響により、上期下期での強弱が出ています。

Q. 2023年3月期に想定している特別損失8億円は確定しているものか？

A. 半分程度はほぼ確定していますが、残りは発生の可能性のある金額として入れています。

Q. 2023年3月期の売上総利益率予想に、為替や原料高の影響は織り込まれているか？

A. ある程度は織り込んでいます。為替や原料高の影響は不確定な要素も多いため、定価販売比率上昇に向けた取り組みなど、各種施策の実施でマイナス影響を小さくしていく考えです。

Q. 上海のロックダウンによるサプライチェーンへの影響は出ているか？

A. 足元では納品遅れが出ており、全体の10%程度が3週間程度後ろずれしています。春夏のセール施策等でこの遅れに対応していく方針です。秋冬についても生産地の再検討などの対策を実施し、マイナス影響を抑えていきます。

Q. 2023年3月期の販管費について、どういう前提で組んでいるか？

A. 売上回復による変動費の伸びの他、売上増加に向けた販促施策の実施、ベース戦略のES推進に対応するコストなど、コロナ禍で前期抑制をかけていたところをある程度戻しています。そのため販管費額は前年を上回りますが、伸び率を売上伸長率より抑制するよう販管費をコントロールする計画です。

Q. 主要サイトの売上前年比、ネット通販に占める構成比を教えてください。

A.

	売上高前年比	構成比	前年差
ユニテッドアローズ オンラインストア	97.5%	33.4%	2.1pt
ZOZOTOWN	80.8%	43.4%	▲5.6pt
楽天ファッション	128.0%	15.3%	4.3pt



Q. 2022年3月に実施した自社ECリニューアル後の進捗を知りたい。

A. UIの変更による一時的な買上率の低下やアプリの不具合などによる問題はあったものの、すでに対処の目途は立っており、今後改善していく見通しです。実店舗とネット通販の在庫配分の考え方などに課題を持っており、開発の継続とあわせて適正化を図ります。

Q. コーエンのブランディング再定義の効果が出てくるのはいつ頃か？

A. 今春夏中にはブランド再定義を行い、秋冬以降の商品、販促等の施策に反映していく予定です。具体的な効果が見え始めるのは、来年春夏以降になると想定しています。

Q. 今後の出退店の考え方を知りたい。

A. 現行中期計画で掲げた不採算店舗の精査はおおよそ終わっており、多数の退店が発生するのは2023年3月期で終了する見込みです。2024年3月期以降の出退店の考え方については、次期中期計画の中で討議を進めています。

以上